

■DVD用静止画制作の要件

入稿ファイル形式

TIFF非圧縮形式

レイヤーは全て統合。アルファチャンネル、パスは全て削除。カラーモードはRGBモードとしてください。

サイズ：720×480ドット24ビットカラー

制作時は、4×3モニター用640×480、マルチアスペクト用の場合853×480で制作し、最後に720×480に横のみ伸縮する。（制作サイズについては別紙参照）画像補間方式はバイキュービック方式を使用してください。

ファイル名：英数字8.3形式

小文字のみを使用し、「.tif」としてください。（例：main.tif）

交換方式：DOSフォーマット、MO/FD

Photoshop等で保存時も、IBM形式を指定して下さい。

デザイン上の注意

・コンシューマ用インターレース方式NTSC-TVに出力する事を前提にしたデザインを念頭に立案してください。

彩度の高い色やコントラストのきついても、小さい図柄や文字はフリッカーやドット障害の原因になる場合もあり、認識そのものが出来ない場合も考えられます。テレビ画面での表示を考慮したデザイン制作をお願いします。

・特にインターレースTV出力時に、フリッカが発生することを防ぐため極力、最小ドットサイズを2×2ピクセル以上とってください。

・

ボタン

・ボタンの状態には、通常、セレクト、アクションの3つの状態がある。

通常は元のボタンの色。

セレクトはハイライト状態。

アクションはユーザーがボタンを選択して、表示が開始されるまでの状態。

ハイライトの時の表示状態は、ボタンの縁だけ色変わり、全面色変わりなど。

デザインに応じてパレットを変更して表示制御が出来る。

ボタンの形状は、標準では、長方形（Rectangle）、角のとれた長方形（Round Rectangle）、楕円（Ellipse）のいずれか。バックグラウンドのデザインに合わせたボタンを作る場合にはカスタムアイコンであるボタンマスクが必要となります。

次項参照カスタムボタンの作り方

DVDのメニューボタンの形状はオーサリングシステムで、矩形および楕円形は標準にサポートされている。これ以外の形状のボタンを作るためには下記のマスクがメニュー静止画以外に必要となります。

◎マスクで使用可能な色RGB

バックグラウンド：黒（0, 0, 0）

マスク色F＝赤（255, 0, 0）

マスク色C＝緑（0, 255, 0）

マスク色B＝青（0, 0, 255）

上記のマスクの各色の用途に区別はなく、実際のTVモニターに出す場合は他の色に置き換えて表示できる。（最初は黒地に赤でマスクを作ることから始めた方がわかりやすい。）

◎TV表示時のマスク色の置き換え

マスク版はあくまでボタンの形状を「色」を使ってそのエリアを指定しただけとなっています。

従って「赤」でデザインしたボタン形状に実際のせる「色」は別途RGBで指定してください。

また、それぞれに、色の透過率を指定できる。

透過率は0～15の16段階で、0は透明、15は不透明である。

通常、バックグラウンド（マスク黒）は透明にしておくことが多い。

上記のボタンマスクを作成し、静止画入稿データに合った720×480のサイズの

TIFFファイルにて入稿してください。

この時使用できる色は黒（0, 0, 0）、赤（255, 0, 0）、緑（0, 255, 0）、青（0, 0, 255）、の最大4色のみです。一色のみ使用の場合には黒、赤のみとなります。

エリア指定としての「色」ですので、グラデーションなどが付いていないことに注意してください。